

寺尾上土棚線北伸ニュース

■記事：第2回まちづくり検討会・まちづくりフォーラムの報告、第3回まちづくり検討会開催のお知らせ

第2回まちづくり検討会の報告と第3回検討会開催のお知らせ

日頃から、市政にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

さて、寺尾地区まちづくり検討会は、都市計画道路寺尾上土棚線北伸区間の周辺まちづくり計画を検討するために、平成22年10月に発足し、これまで2回の検討会が開催されました。

今回の北伸ニュースでは、第2回まちづくり検討会とまちづくりフォーラムについての報告及び第3回まちづくり検討会の開催についてお知らせいたします。

なお、平成23年4月の各自治会役員改選に伴い、第3回まちづくり検討会では委員の交代があります。

■第2回寺尾地区まちづくり検討会の概要報告

日 時：平成23年1月30日（日）13：30～16：30

会 場：寺尾いずみ会館2階展示室及び研修室

出 席：委員22名、傍聴者30名

○ 設置要綱の改正、会長・副会長について

- ・第1回検討会において、設置要綱にある幹事会の必要性について意見が出たことから、幹事会の記述を削除した設置要綱改正案について説明し、今後検討会の進め方や内容の取りまとめについては、検討会の中で行うことになりました。
- ・会長・副会長の役割については、「会の招集」「議事の進行」「事務局との連絡等」を明記することになりました。
- ・会長・副会長の職務については、当面は事務局が代行することになりました。

○ 寺尾上土棚線（北伸区間）周辺まちづくりについて

- ・寺尾上土棚線（北伸区間）周辺の状況の説明と現況の平面図や地形の縦断図を用いて、まちづくりの課題などについて意見交換していただきました。

※ 第2回寺尾地区まちづくり検討会で当日使用した資料及び議事録については、市のホームページに掲載しています。また、市役所インター推進室でもご覧いただけます。

■第2回まちづくり検討会での主な意見

(1) 寺尾上土棚線の現況平面と縦断に関する意見	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・天台小学校を地下で通し、寺尾台住宅地と寺尾北住宅地を現況に近い勾配にしたらどうか。 ・天台小学校～寺尾の森周辺まで地下式にして、寺尾北住宅地を現況に近い勾配にしたらどうか。 ・寺尾の森～寺尾北住宅地の低い所を盛土か橋梁にして、なるべく高低差を無くす縦断にしたらどうか。 ・検討会では、整備計画の縦断図を提示して欲しい。案を出してもらわないと検討できない。 ・計画道路の勾配がきついと、自転車で通行しづらくなる。 ・天台小学校を地下式にするのであれば、側道等も考えなければならない。 ・寺尾上土棚線と県道 42 号、市道 208 号線が交わる大塚本町交差点に交通量が集中し、非常にネックになると思う。 ・寺尾の森付近は市道9号線が周囲より低くなっているため、夏の無風状態の時には、この辺りに排気ガスが溜まるのではないか。 ・幅員を 27m にした場合と 35m にした場合の平面図を出して欲しい。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員については、現在都市計画決定している幅員の平面図をお出ししています。地区の地形や道路の構造等を考慮する中では、さまざまな縦断案が考えられます。周辺の土地利用も含めて検討していきたいと考えています。
(2) 寺尾上土棚線整備の要望等について	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・寺尾上土棚線をどうしても必要ならば、地域住民にとって迷惑が掛からない方法を選んで欲しい。 ・整備した後に苦情が出ないような最良の整備案を市が住民に提案し、地域住民にとってプラスになるような計画を造って欲しい。 ・この検討会では、寺上線の整備構想についての意見を出し合い、市に提案していくべきではないか。 ・寺尾地区の住環境が変化しないように寺尾上土棚線を整備して欲しい。防音壁の設置や大型車の交通規制等の対策も必要ではないか。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・寺尾上土棚線は、近隣市へとつながる道路であることから、行政間の調整も行いながら検討してまいります。

○ 寺尾地区まちづくりフォーラムが開催されました

平成 23 年 2 月 13 日（日）に、寺尾地区のまちづくりの検討を深めるため、まちづくりの専門家による「寺尾地区まちづくりフォーラム」が開催されました。

● 講演者：財団法人神奈川県市街地整備支援センター

・座長：高橋 洋二氏（日本大学総合科学研究所教授）

寺尾地区の都市防災・緑・環境・コミュニティについて、皆さんで議論していただき、市民と市が一緒に考え、この地域をより良くしていく場として、フォーラムを活用していただきたい。

・「まちづくりにおける道路計画について」

加藤 國夫氏（(財)神奈川県市街地整備支援センター専務理事）

区画街路・補助幹線道路・広域的な幹線道路、それぞれが役割を持っており、それらを全体的にバランス良く充実されることにより、市民生活や経済活動、災害等の避難や広域的な支援活動に役立つと考えています。

・「都市防災について」

国崎 信江氏（危機管理教育研究所危機管理アドバイザー）

まちづくりの中では防災が重要な課題であり、寺尾地区のような木造密集市街地では、道路・公園等の整備により沿道の不燃化が進むことで、延焼遮断機能・避難機能・地域の生活拠点機能や環境改善機能を持つ軸が形成されます。

防災まちづくりを考える際は、「燃えないまちづくり」「消火活動を妨げないまちづくり」「避難地の確保」「安全に避難できるまちづくり」が必要と考えています。

・「地域環境、地域コミュニティについて」

大橋 南海子氏（(株)まちづくり工房代表）

寺尾地区は公園や緑地が不足している状況です。例えば、計画道路を立体的な構造にし、上部を緑地利用することで南北方向の緑の軸を形成し、コミュニティのネットワークも期待できると思います。

・「まちづくり事業の手法について」

齋藤 卓氏（(財)神奈川県市街地整備支援センター理事）

市から提案された寺尾上土棚線整備計画を、まちづくりの契機として前向きに考え、住民が自分達でより暮らしやすいまちにするためにみんなで話し合い、話し合われたことを市に提案し、それを実現していただきたい。

●まちづくりフォーラムの傍聴者との主な意見交換内容

傍聴者：まちづくりを主に考えるべきか、それとも、道づくりがあつてのまちづくりを考えた方が良いのか。

講演者：道づくりだけでは地域の課題を解決することができません。また、安全で安心なまちをつくるためには道路をつくることもひとつの方法であると考えられます。そのため、まちづくりと道づくりは一緒に考えていくべきです。

傍聴者：寺尾地区で起こり得る災害について教えて欲しい。

講演者：老朽した建物が密集しているため、火災の延焼の危険性が考えられます。また、道路が狭いことから、避難場所への避難路についても課題があります。災害に対応したまちづくりをどのようにしていく必要があるのか、住民と行政で十分に検討していく必要があります。

■第3回寺尾地区まちづくり検討会開催について

第3回まちづくり検討会では、前回の会議の内容を基に作成した資料を使用して、意見交換をしていただく予定です。

日時：平成23年6月12日（日）午後2時～

場所：寺尾いずみ会館 2階 展示室及び研修室

内容：・新委員への委嘱状交付

・寺尾上土棚線（北伸区間）周辺まちづくりについて②

※「寺尾地区まちづくり検討会」は公開で行います。どなたでも傍聴が出来ます。

※ 会場へのお車でのご来場はご遠慮ください。

●お問い合わせは

綾瀬市都市経済部インター推進室 担当：金子、池之

電話 0467-70-5681 FAX 0467-70-5703

メールアドレス su1630@city.ayase.kanagawa.jp

綾瀬市ホームページ <http://www.city.ayase.kanagawa.jp>